

似たもの同士
くらべてみよう



ギシギシ の仲間

市内では、外来種のナガバギシギシ、アレチギシギシ、エゾノギシギシがよく見られ、在来種のギシギシは少ない。ギシギシの仲間は道ばたや空き地・河川敷などで見られるが、種類を特定するのは難しい。



ナガバギシギシ



アレチギシギシ



枯れたギシギシの仲間



ナガバギシギシの実



アレチギシギシの実



エゾノギシギシの実

ナガバギシギシ

タデ科 花期6～8月
外来植物〈ヨーロッパ〉
高さ0.5～1.5m。茎の上部に30cmほどの花穂をだし、緑色の小さな花を多数つける。実を包む内花被片は全縁。三つある実の大きさは異なる。

アレチギシギシ

タデ科 花期5～10月
外来植物〈ヨーロッパ〉
高さ0.4～1.2m。ほかのギシギシにくらべてほっそりしている。葉は長さ10～20cmの長楕円形で、縁は細かく波打つ。花は間隔をおいて輪生状につける。

エゾノギシギシ

タデ科 花期6～9月
外来植物〈ヨーロッパ〉
高さ0.5～1m。茎や葉柄、葉の中脈が赤みを帯びる。葉は長さ15～30cmの長楕円形で、基部は心形。茎の上部に総状花序を多数だし、淡緑色の小さな花を輪生状につける。